



かのや  
畜産応援隊

やまもと けいし  
山本 憲士 隊員 (26歳)

平成2年静岡県掛川市生まれ。大学卒業後、静岡県富士宮市の観光牧場に就職。10月1日から地域おこし協力隊員として畜産課に所属。現在、市内の畜産農家で研修中。主な業務は、畜産農家ででの飼養管理等のノウハウを習得し、情報発信を行うこと。

「以前勤務していた観光牧場では学べなかった飼育管理全般や経営などについても学んでいます。出産にも立ち会ったり、せり市に行ったりと、初めてのことに多く大変勉強になります。地域で得た人脈を大切に、将来、就農したいと考えています」

いもと かな  
井本 佳奈 隊員 (25歳)

平成3年大阪府堺市生まれ。専門学校卒業後、山本隊員と同じく富士宮市の観光牧場に就職。10月1日から地域おこし協力隊員として畜産課に所属。現在、市内の畜産農家で研修中。主な業務は、畜産農家ででの飼養管理等のノウハウを習得し、情報発信を行うこと。

「観光農場では主に乳牛の世話をしていました。乳牛は毎日搾乳があるので人に慣れていますが、それに比べて肉用牛は繊細なところがあるような気がします。少しでも早く飼育技術を学びたいですね。活動内容の発信や、観光イベントの実施・運営もできたらと思っています」



かのや  
畜産応援隊

まつもと こうじろう  
松本 功次郎 隊員 (30歳)

昭和61年大阪府大阪市生まれ。大学卒業後、飲食店を中心に様々な職種のアルバイトを経験。10月1日から地域おこし協力隊員として、吾平総合支所住民サービス課に所属。主な業務は吾平町神野地区の自然や食の活用、神野ブランド特産品の開発。

「昔から自然が豊かな所に住んでみたいと思っています。神野地区はいろんな可能性を秘めていると思います。地域住民の皆さんと一緒に様々な事業がやれたらと思っています。そして、この地域資源で地元が豊かになれるようにしたいですね」

日本一の  
ふるさと  
教え隊



地域おこし協力隊

# 地域をおこす！

## 新たに5人の隊員が誕生しました！

「地域おこし協力隊」は、平成21年度に総務省が創設した事業で、過疎化や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力を維持・強化することを目的としています。具体的には、地方自治体が都市住民を受け入れ、「地域おこし協力隊員」として委嘱し、一定期間以上、農林漁業の応援、水源保全・監視活動、住民の生活支援など、様々な地域協力活動に従事し

ながら、地域への定住・定着を図るものです。鹿屋市は平成26年度から導入し、これまで5人の隊員が様々な分野で活躍しています。そして、また新たに5人の隊員が仲間入りしました。今回の5人の着任で、市内の「地域おこし協力隊員」は10人となりました。隊員たちの今後の活躍が期待されます。

☎ 0994 31 1147  
■ 市地域活力推進課(3階)



マチの  
ファンづくり  
仕掛け人

たじり  
田尻 ゆう子 隊員 (31歳)

昭和60年鹿屋市生まれ。大学卒業後、東京都内のコンサルティング会社に就職。8月1日から地域おこし協力隊員として、市商工振興課に所属。主な業務は中心市街地の基本戦略策定や民間投資を誘発する仕組みづくり。

「着任以来、中心市街地の現状を把握するために、約600か所を回って調査し、地図に落とししていく作業を行いました。今後は、この情報をもとにシステムを作り、空き地・空き店舗の利活用促進につなげていけたらと思っています。また、イベントの企画・運営にも積極的に携わっていきたいです」

ふくもと やすひろ  
福元 康洋 隊員 (32歳)

昭和59年鹿屋市生まれ。昭和63年福岡県春日市に転出。高校卒業後、春日市内で料理人の道へ。9月1日から地域おこし協力隊員として、輝北総合支所産業建設課に所属。主な業務は酪農資源を使った乳製品や、輝北産農畜産物を活用した特産品等の開発。

「先日、試作品として『輝北みるくプリンシュー』を作りました。星の形の牛乳プリンを乗せた、かわいいシュークリームで、試食いただいた方に好評でした。次はさっそく3種類のプリンロールケーキを作る予定です。『輝北イコール、私の作ったお菓子』となるように、早く商品化できたらと思っています」

輝北町  
特産品等開発  
推進員

